

わ げ ん あ い ご 和顔愛語

2013
VOL.18



真生会富山病院だより



第1回健康セミナー開催

「便秘の解消法」をテーマに、アイザック小杉文化ホール ラポール まどかホールで、消化器内科 真野鋭志医師、外科部長 古谷正晴医師が講演しました。射水市内外から多くの方にご来場いただき、皆さまの医療、健康への関心の高さがうかがえました。



富山福祉短期大学看護科の臨地実習

富山福祉短期大学看護科の学生さんが、病院での臨地実習を通して、医療従事者、患者さんを含めたさまざまな人とのふれあいの中で、看護職としての役割を学び、観察力、実践力を身につけました。



健康相談など「看護の日」イベント開催
「看護の日」に合わせ、健康相談、血圧、血糖、体脂肪などの測定コーナーや、アイセンターの看護師による目の病気、老眼、近視、白内障を同時に治療する多焦点眼内レンズについて相談や説明を行いました。「目の手術は怖いと思っていたので、詳しく聞くことができ、少し安心しました」という声をいただきました。



アイセンター長 館 奈保子医師 「糖尿病シンポジウムin富山」で、パネラーとして参加

糖尿病の正しい知識を身につけてもらおうと、日本糖尿病協会と同協会富山支部は、富山市の富山国際会議場で「糖尿病シンポジウムin富山」を開催。アイセンター長 館 奈保子医師がパネラーとして参加、糖尿病の合併症、糖尿病網膜症による重度の視力障害について話しました。来場者の皆さんに、糖尿病の怖さや予防に理解を深めて頂けるシンポジウムでした。

院内探訪

アイセンター 医療機器

寄りそい、つながる医療と医師



真生会富山病院
副院長
眼科医師

はし もと よし ひろ
橋本 義弘



消化器内科医師
真野 鋭志



外科医師
古谷 正晴

情熱の白衣

Interview 12

●インタビュー

看護師長

さん が み な こ
三箇 美奈子



ロービジョンケア

低視力の方々へのロービジョンケアにも積極的に取り組んでいます。

真生会のアイセンターは、
緑内障、網膜硝子体疾患をはじめ、
様々な眼疾患に幅広く、
先進医療を提供します。

どんな治療を行うか、わかりやすい説明をして、
患者さんの不安を和らげ、情報の80%を取り入れる
大切な目を守ります。

——医師を志した理由、きっかけを教えてください。

両親は健康で周りに病気で苦しむ人もなく医療の道に進むことは考えたこともありませんでした。私自身も学校を休んだことがなく、中学・高校時代は吹奏楽・囲碁・サイクリングなどのクラブをかけもちして朝から晩まで忙しく、将来像を描くこともできないまま、受験には失敗してしまいました。その時思ったことは「勉強しても幸せになれそうにないが、勉強しないと不幸になりそうだ」ということでした。将来は入学してから考えることにして、物理と数学が好きだったので工学部に進学しました。

入学して初めて「医学部」という学部を言われて、「医者ってどんな職業だろう」と、改めて考えた時、「大変そうだが

けどやりがいがありそうな職業だなあ」というイメージを持ちました。

子供の頃は、自分が楽しむことばかり考えていましたが、他人を幸せにすることが自分の幸せになること、心の満足を得られるとの思いで、それから考え直し、医師を目指し、福井大学医学部に進み、医師の道を歩み始めました。

——眼科医師を選んだ理由は何でしょうか。

何より眼科で一番良いことは、見えなくて困っていた患者さんが、見えるようになる。そして患者さんがとても喜んでくださるのを実感でき、励みにもなります。眼科の検査機器や治療方法は日進月歩で、医師になって、技術取得の大変さや難しさ、その魅力を実感しました。

——アイセンターの設立に尽力され、オープンして3年余りになります。

真生会のアイセンターは、総合病院に併設された眼科病院というイメージです。館アイセンター長を中心に、センターに必要な機能を備えたシステムを独自に当院の情報室で開発してもらい、スタッフが外来、病棟、手術室と連携を取りやすく運営することで、安全、安心、満足の提供につなげています。

設立から3年余り、無事にアイセンターを運営できたことを、関係する業者スタッフの皆さんに感謝いたします。まだ、100%の稼働には至っておりませんが、引き続き尽力していきたいと思っています。



副院長 眼科医師

はし もと よし ひろ
橋 本 義 弘

【専門分野】

屈折矯正手術(近視の手術)

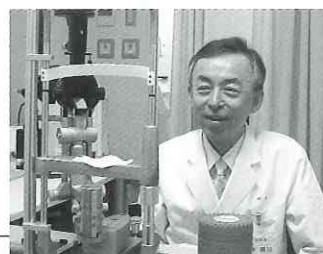
【専門医・指導医】

日本眼科学会認定眼科専門医、眼科PDT認定医
角膜学会所属



● インタビューアー
看護師長
さん が み な こ
三箇 美奈子

私たちは患者さんやその家族が身内であつたらと考え、そしてその身内を安心して任せることができるかと常に意識を持ち、医療・看護サービスを提供する。このことを常に思うことが大事ではないかと思っています。



白内障やレーシックなどの日帰り手術、様々な疾患をもつ患者さんも諦めないで

一度受診してみてください。

——アイセンターの体制について、もう少し詳しくお聞かせください。

現在のアイセンターは、常勤医師4人、非常勤医師16人、専属看護師25人、看護助手5人、視能訓練士11人の他、総スタッフ70人で診療業務を行っています。

手術は、白内障手術をはじめ網膜硝子体手術、抗VEGF薬注入療法、光線力学療法、緑内障手術、涙道手術、眼瞼手術、斜視手術、エキシマレーザー手術など、前眼部から後眼部までは網羅しています。手術以外にも、ロービジョンケア、オルソケラトロジー、斜視・弱視に対する視能訓練にも積極的に取り組んでいます。

また、白内障、緑内障、網膜硝子体疾患をはじめ、角膜、斜視弱視など多彩な眼疾患の患者さんに幅広く対応するための専門外来、日本眼科学会認定眼科専門医制度指定研修施設として研修医の指導や臨床研究、学会発表も積極的に行っています。

これからも、アイセンター診療体制の充実を図り、ひとりでも多くの方の視力の回復を願っています。



レーシック(LASIK)

角膜にエキシマレーザーを照射して角膜のカーブを変える手術です。手術後から裸眼視力が上がり、痛みもほとんどありません。欧米、アジアなど世界中に普及して、毎年数百万人がこの手術を受けています。当院アイセンターでは、術前検査から術後のアフターケアまで責任を持ってフォローいたします。

——いま、注目されている短期間での医療サービス、アイセンターの日帰り手術については…。

患者さんは、出来るかぎり短期間で治療を終えたいと思っています。アメリカでは、一般外科手術の8割が日帰り手術で行われています。アイセンターでも、白内障やレーシックなどの日帰り手術を積極的に行っています。もちろん、術前から術後まで責任を持って対応していますので、日常生活のリズムを変えることなく手術治療ができます。

また、術前術後処置室、リカバリーのスペースを充分に設け、患者さんの負担も少なく、入院の煩わしさのない医療サービスを提供しています。

——日々の診療で、心がけておられることはありますか。また、気分転換はどのようにされていますか。

診療は、医師と患者という関係以上に、人と人との会話です。どんな治療を行うか、心配なところは、きちんと説明をして、患者さんの不安を少しでも和らげ、納得した治療を心がけています。こうした意識は、看護師、視能訓練士、手術室、病棟、看護助手、医事課、診療支援課のアイセンタースタッフ全員が共有し、患者さんに寄り添い、他の病院と違うというものがわかってもらえること、真生会の理念が伝わる医療を心がけています。

気分転換については、時間があれば、朝日新聞デジタルの囲碁名人戦を見たり、交響曲、協奏曲の心地よい立体感のある音色を楽しんでいます。

——最後に、患者さんへのメッセージがあれば。

私の専門は屈折矯正手術(レーシック)ですが、アイセンターでは、年間2200件以上の手術を行っています。さまざまな疾患を持つ患者さんも多くいらっしゃいます。診断と治療に加え、わかりやすい説明を心がけていきたいと思っています。

真生会富山病院アイセンターでは、どんな患者さんでも、できる限り対応します。目の病気で諦めている患者さんは、一度アイセンターを受診してください。



フェムトセカンドレーザー

フェムトセカンドレーザーは角膜を正確に切る機械です。正確に予定どおりに、またジグザグなど思い通りの形に角膜を切開できるため、いろいろな手術の可能性が広がります。

1. レーシックがさらに安全で正確に行えるようになる

これまで角膜が薄い人では、刃物で角膜の表面を切つてエキシマレーザーで削る従来のレーシックでは、レーシックを行うことができませんでした。

ところが、フェムトセカンドレーザーでは、コンピュータ制御でこれを行うので、この操作が安全にできるようになり、これまでより薄い角膜の人でもレーシックを受けることができるようになります。(全員できるわけではありません)

また、角膜切開面の接着がよくなる利点もあります。

2. これまでレーシックのできなかった近視の人にも近視をなおす手術ができる

円錐角膜(図一)といって角膜の中央付近が薄くとびだして極端に強い近視になる病気があります。

円錐角膜では、めがねは間に合わず、軽い間はコンタクトレンズで何とか見えるけれども、重くなるとコンタクトレンズも

使えなくなります。そこで何とか治療できないかとレーシックを希望して受診される人が多かったので

が、残念ながら円錐角膜の方では角膜中央が薄くレーシックによってそれ以上薄くしては眼球を維持できないためにレーシックによる近視治療はできません。

フェムトセカンドレーザーを使うと角膜の周辺部に正確なトンネルをつくり、そこに透明なリングを通して、とびだした角膜を平たく変形させる治療で近視を減らすことができます。(図二)

3. 乱視の治療が正確に簡単にできる

角膜に切開を入れて乱視を治す方法は従来からあるのですが、刃物で切るのは正確さが今ひとつです。どれだけ乱視が減るかの予測が正確ではありません。フェムトセカンドレーザーでは正確に角膜を切開できるので、かなり正確に乱視の度数を減らすことができます。



図2 角膜リング

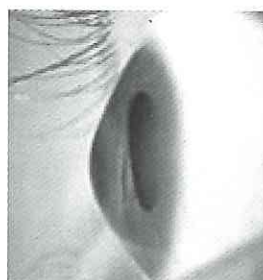


図1 円錐角膜

院内探訪

アイセンター

医療機器

フェムトセカンドレーザー

マルチスキャンレーザー光凝装置

MC-500Vixi

スペクトラルドメインOCT

ハイデルベルグスペクトラリス

NIDEK RS-3000

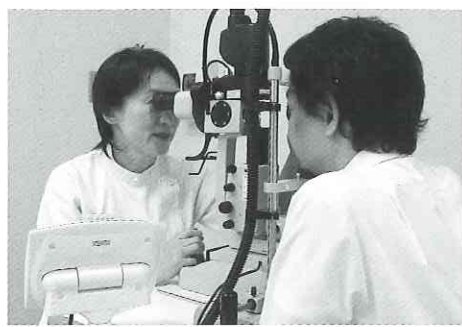
マルチスキャン レーザー光凝固装置

MC-500vixi

光凝固装置は、網膜にレーザーを照射することによって、病気の進行を抑制したり、治療を行う装置です。

糖尿病網膜症や網膜剥離をおこす網膜の裂孔などの治療を行います。従来型のレーザーより痛みが少なく短時間で治療を行うことができ、負担が少なく安全で確実な治療が可能な装置です。

マルチカラースキャンレーザー光凝固装置では治療光を緑、黄、赤の3色のレーザー光から選択でき、疾患の種類や患部の位置に合わせた適切な照射が可能です。



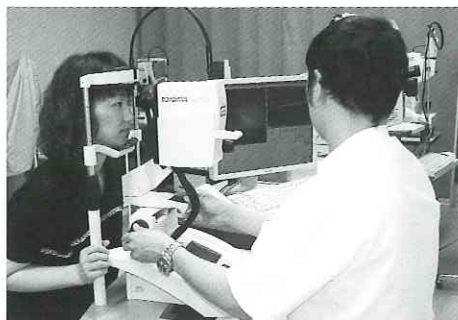
マルチスキャンレーザー光凝固装置

スペクトラルドメインOCT ハイデルベルグスペクトラリス NIDEK RS-3000

OCTはレーザー光を用いて、網膜、視神経などの断層写真を短時間で鮮明に撮影する装置です。網膜のOCT検査により、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性、黄斑上膜、黄斑円孔、中心性脈絡網膜症、網膜静脈分枝閉塞症など網膜の病気を診断、治療効果の判定を行うのに有用です。

また視神経の断層写真により、視神経のかたちを詳細に検査することができます。視野検査と組み合わせてこの検査を行うことで、緑内障かどうかの診断や緑内障の進行具合を正確に知って治療に役立てることが出来ます。

当院では最新の高性能OCT2台を導入、フル稼働して診断を行っています。



ハイデルベルグスペクトラリス



NIDEK RS-3000

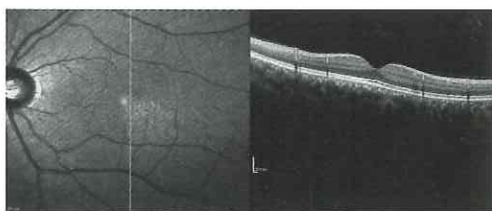
白内障手術後や、レーザー治療後に
視力が落ちたとき
黄斑部に病気があるかも…

白内障手術の後、よく見えるようにならないとか、レーザー治療を受けてから見えにくいとき、網膜で一番大事な黄斑部というところに病気が隠れていることがあります。

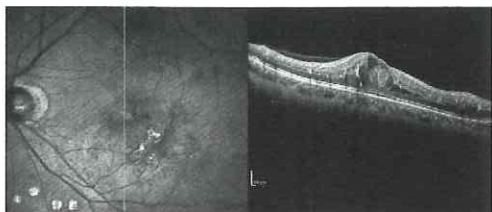
OCTで、黄斑部の異常を正確に診断し、マルチスキャンレーザー光凝固装置などで最新の治療を行うことで、良好な視力を取り戻すことができます。

また当院アイセンターは、多焦点眼内レンズと前眼部OCTの二つの高度先進医療を行う施設として認定されています。そのほか乱視も治せる高機能眼内レンズを採用して、よりよい見え方になるよう工夫しています。

黄斑部の病気の場合、早期に治療を行うことで、よい視力を与えることが可能になりますので、早めの受診をお勧めします。



正常黄斑部



糖尿病網膜症による黄斑部浮腫



たち
館 奈保子

アイセンター長

【専門分野】

網膜硝子体手術、網膜疾患(網膜剥離、糖尿病網膜症、黄斑疾患) 緑内障

【専門医・指導医】

日本眼科学会認定眼科専門医、眼科PDT認定医
日本網膜硝子体学会・日本緑内障学会
American Academy of Ophthalmology所属
金沢医科大学非常勤講師

学んで予防、学んで健康。

つながる医療と医師。

「便秘の解消法」をテーマに、アイザック小杉文化ホールラポールほかホールで、真生会富山病院第1回健康セミナーを開催。

お通じ外来（便秘専門外来）、消化器、内視鏡治療のエキスパート、消化器内科 真野鋭志医師が「食べて出す健康法」。

胃癌、大腸癌、肝臓癌など外科手術を担う外科部長 古谷正晴医師が、便秘に効く「デルデル呼吸」と題して、講演しました。

射水市内外から多くの方にご来場いただき、皆さまの医療、健康への関心の高さをうかがえました。ご来場ありがとうございました。

その後も、講演内容について、多くのお問い合わせなどもありましたので、「誌上セミナー」として、誌上再現しました。

消化器内科

消化器内科医師 食法薬医長 さくら病棟医長

【専門分野】

消化器内科一般、生活習慣病、臨床栄養学、便秘治療

【専門医・指導医】

日本内科学会総合内科専門医・指導医

日本消化器病学会消化器病専門医、日本肝臓学会肝臓専門医

日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化管学会、米国内科学会所属

真野 鋭志
しんの えいじ

食べて出す健康法

お通じ外来からのメッセージ

便秘で悩んでいる方へのメッセージです。まず便が作られて出てくるまでを知りましょう。

大腸で便が作られ、食事などの刺激で直腸に進入。その刺激で便意を感じて、排便反射で一気に押し出します。

硬からず軟らか過ぎず、バナナのような便を作ることが大事です。

また、忙しさからせつかくの便意をがまんするのは厳禁。直腸内に便が残ったままでは、新たな刺激がなぐ次の便意が生じません。

よい便は、70%が水分、残り固形成分は、食物繊維、腸内細菌などです。食べ物に含まれる水分が大事で、パンよりもごはんと言われます。

食物繊維は、便の骨組みとなる大事な成分です。

日本人の摂取量は年々減っています。白米を雑穀米に代えるのもよいですし、ホームベーカリーで全粒粉パンを作るのもよいでしょう。

便は細菌のかたまりとも言えます。100種類100兆個と言われる腸内細菌。ヨーグルトなどの乳酸菌食品やエサとなるオリゴ糖が善玉菌を増やします。

注意すべきは、何年も下剤で刺激していると、大腸が慣れてきて、薬を増やさざるを得なくなることです。刺激性下剤は、いざという時のために温存しておき、どうしてもという時に頓服で使いましょう。

便秘は一人で悩んでも解決しません。ぜひお通じ外来にお越しください。

お通じ外来（便秘専門外来）

完全予約制

金曜日 17:00～19:00

お通じ外来のご予約は

消化器内科 TEL 0766-52-2554

便秘治療には、排便状況、便の性状、食生活、ストレスなど十分な問診による便秘タイプの診断とそれに応じた具体的な生活指導、適切な投薬は不可欠です。診療にはある程度の時間が必要です。便秘に悩んでいる方は、お気軽に受診ください。

健康セミナー開催



真生会富山病院 健康セミナーは、医療や健康を通して、多くの地域住民の皆さんと医師らスタッフとの交流を深めていただくことを目的に開催したものです。今後、様々なテーマで開催していく予定です。

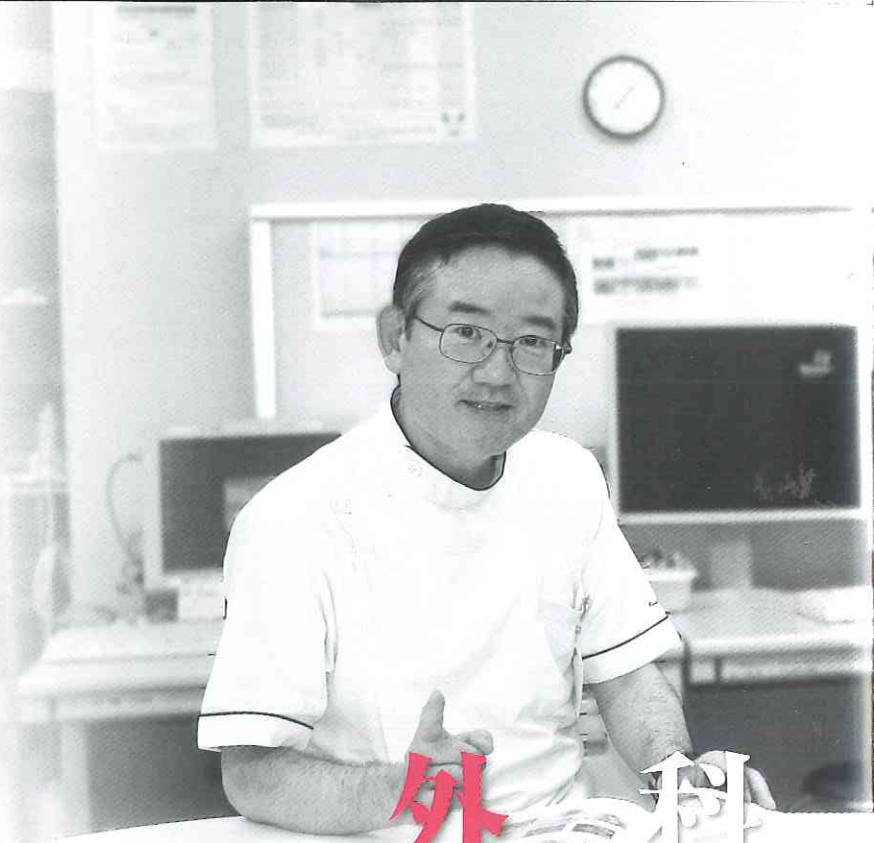
講演後の質疑応答では、会場から熱心な質問が相次ぎ、セミナーを聴講した地域住民の皆様から、いろいろな感想をいただきました。

「関心が高いのか、来場者が多かったですね。立ち見の方も多くて、会場をもっと広くしてもよかったですね。」

(高岡市60代男性)

「便秘で悩んでいたのので来ました。簡単に解決できそうなので、呼吸法をすぐ実行します。それでダメなら病院に行きます。」

(射水市60代女性)



外科

外科医師 副医局長 外科部長
中央手術室医長

【専門分野】

消化器外科、肝臓外科、胃癌手術
創傷の湿潤治療、経ヘルニア手術

【専門医・指導医】

医学博士、日本外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医

古谷 正晴
ふるたに まさはる

便秘に効く

『デルデル呼吸』

デルデル呼吸とは、荒木隆次医師が考案された「胸式呼吸でも腹式呼吸でもない、動物本来の呼吸」です。効果が期待できる疾患・愁訴として、便秘、手や足の冷え、肩こり・首こり、頭痛、腰痛、過敏性腸症候群、逆流性食道炎、生理痛、不眠、自律神経失調症、パニック障害などがあります。

以下にデルデル呼吸のやり方を説明しますので、一度お試しください。

1 「吐いて息む」「吐きながら息む」排便法(便秘の方に)

【やり方】 ①便座に座り、両手をわき腹に当てて親指だけを背中側に回し、深く息を吐きながら同時に息む

②息む時に呼吸を止めない

③自然にまかせて息を吸う

④便意が高まるまで①から③を何度もくり返す

2 デルデル呼吸 第二段階

【やり方】 ①あお向けに寝て、軽く膝を立てて、眼を閉じて、全身の力を抜いて、全身の体重をベッドに預けて、できるだけ控え目にいつもやっている呼吸をする

②お腹や腰まわりに当てた手で、吸ったら自然にふくらみ、吐いたらしぼむことを実感する。

3 デルデル呼吸 第二段階

【やり方】 ①第一段階で吐く時に、もう少し深く吐いてみる

②おなか、腰に力を入れない

③吸うのは軽く。自然に入ってくる感じ

④お腹に当てた手でお腹や腰まわりの自然な動きを味わい、感じながら、繰り返し

以上を1日2回(朝と寝る前) 5から10分間毎日実行します。

便秘・排便障害

便秘には、便が毎日出ない、何日も出ない、スッキリ出ない、強く気張らないと出ない、何回もしたくなるなど症状はさまざまです。

● **器質性便秘** 大腸がんや炎症性疾患などで大腸の内腔が狭くなり、便が通過しにくくなって起こる便秘です。

● **機能性便秘** 大腸に病気はないのに、大腸、直腸や骨盤底の働きに異常があつておこる便秘で、腸のぜん動運動が弱く、排便に時間がかかる便秘。ストレスが原因でおこる、けいれん性便秘。排便しようとしてうまく排出できない直腸性便秘など、症状によって、治療法も異なります。診断には、簡単な検査が必要ですが、治療には、呼吸法や自己トレーニング法もあり、下剤ばかりが治療ではありません。

便秘になると、便が硬くなり、排便のときに息んで肛門周辺がうっ血したり、出血しやすくなり、悪くなると痔(いぼ痔、切れ痔)の症状にも注意が必要です。毎日悩むよりも一度受診して、安心しましょう。



耳鼻咽喉科医師

扇 和弘 おうぎ かずひろ

【専門分野】

アレルギー性鼻炎の治療
めまいの治療、副鼻腔手術
甲状腺手術

【専門医・指導医】

医学博士
日本耳鼻咽喉科学会専門医
日本耳鼻咽喉科臨床学会
日本アレルギー学会
日本頭頸部外科学会所属

昨年5月から勤務しております扇と申します。耳鼻科医になり11年目を迎えます。初心を忘れないように日々の診療にあたりたいと思います。よろしくお願いいたします。



内科医師

田中 宏明 たなか ひろあき

【専門医・指導医】

日本内科学会所属

平成24年4月より内科・消化器内科に赴任致しました田中宏明と申します。富山大学医学部を卒業後、故郷名古屋に勤務し、この度富山に戻って参りました。勤務し始めて、院内の清潔感や職員の親切さに驚きました。病院理念の「自利利他」、職員信条の「和顔愛語」が徹底されていることに日々感銘を受けます。自利利他を実践し、医師本来の使命が果たせるよう努めてまいります。



内科医師

北澤 勉 きたざわ つとむ

【専門分野】

呼吸器内科
呼吸器疾患一般

【専門医・指導医】

日本内科学会 認定内科医
日本呼吸器学会
日本肺癌学会所属

出身は長野県中央部の山間の町です。

平成元年に富山医科薬科大学に入学、富山にはご縁が長いです。小さい頃は、家の屋根に登っては、青空のもと、山々の稜線を眺め、「あの山の向こうには、どんな風景が広がっているんだろう」と、想像をふくらませていました。山の彼方には、富山県があったんですね。呼吸器内科を専門としています。皆様の健康のサポートができますよう、努力してゆきたいと思います。よろしくお願いいたします。

新任医師の紹介

新たに真生会富山病院に赴任した医師を紹介いたします。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

第29回 日本視機能看護学会 学術総会開催のご案内



「第29回日本視機能看護学会学術総会」を9月14日(土)～15日(日)の2日間、富山国際会議場で開催いたします。テーマは「超高齢社会を支える眼科看護～患者の未来を見据えて寄り添う～」を掲げ、特別講演、教育講演、シンポジウムなどを開催いたします。

チーム医療のキーパーソンとして、常に患者に寄り添いながら主体的な判断力と行動が求められている看護師が、それぞれの看護実践からの知見を共有し、今後の眼科看護に活かす意義深い学術総会になることを願っております。富山で皆様とお会いできることを楽しみにお待ちしております。

日本視機能看護学会学術総会

会長 加藤 礼 (真生会富山病院 看護部長)

看護の実践は、知識や技術、スキルを身に付けるだけではありません。観察に始まり観察で終わる看護は、個々の看護師の五感に基づく感性が必要であり、患者のケアに最も大切なことを現場実習で学びました。



「患者さんに少しでも良い看護がしたい」「自分たちの笑顔と元気で、みんなで力を合わせて頑張ろう」と心を合わせて一生懸命。



あなたに看護してもらって、ほんとうに良かった。患者さんの言葉に励まされ、明日も頑張れる。

臨地実習(看護現場を体験して、さまざまな看護のあり方を学びます。)



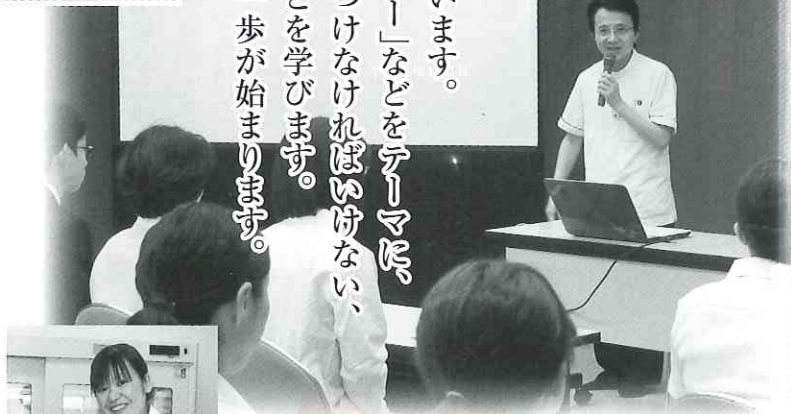
富山福祉短期大学 看護学科の臨地実習

新人職員研修

フレッシュセミナー

入職した職員(全職種)を対象に、フレッシュセミナーやオリエンテーションを行います。

「病院理念」「職業人としての心構え」「接遇のマナー」などをテーマに、グループ討論や、実践的な訓練を行い、今後身につけなければいけない、感性、配慮の大切さ、自覚を持って働く大切さなどを学びます。安心と満足の医療を提供できる職員としての第一歩が始まります。



薬剤科
かのう みゆき
加納 未由希

患者の皆様の安心と満足のために、思いやりを届けるために、どんな準備が必要なのか、より具体的に深く考えさせられ、それを実践する重要性を知らされました。誠実な対応をしたい、信頼されたいという心があっても、その心を相手に伝えるには体を整える必要があり、接遇トレーニングを通して心を体で表す難しさを感じました。職員同士、「患者の皆様の安心満足」という同じ目的に向かって、フレッシュセミナーで学んだことを一つ一つ実行していきたいと思います。

中央検査科
いし くら あさ み
石倉 麻美

入職してからの半年間、院内のシステムや検査に関する知識や技術を身につけることに精一杯で、精神面に関しては未熟だったと思います。

「苦しい時こそ和顔愛語」の職員信条を忘れず、これから仕事に臨んでいきたいです。



看護部 看護助手
いい づか ま す み
飯塚 真澄

人命は地球よりも重く、命に関わることはやり直しがききません。医療従事者には患者の人格と健康に生きる権利を尊重し、誠実に最良かつ安全な医療を提供する義務があります。

常に質の高い医療サービスを提供できるよう心身の状態を整え、責任と誇りを持って仕事に取り組んでいきたいと思っています。



中央放射線科
あさ や よし ひ こ
浅谷 佳彦

2日間にわたる研修の中で、2日目の接遇トレーニングでは一体感のようなものを感じることができました。セミナーを受けている側も気持ちが高ぶり、良い体験をさせてもらったという気持ちでいっぱいでした。

参加して活動を紹介

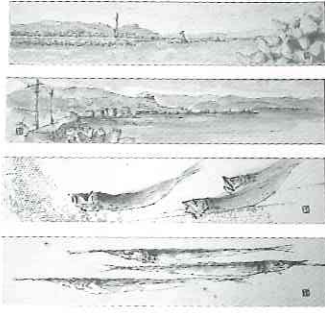
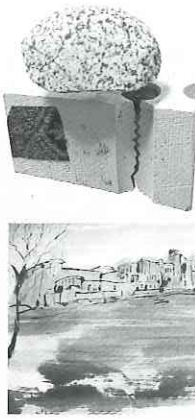
ぎやらりー

院内コミュニケーションスペース

真生会富山病院では、病院内のコミュニケーションスペースを利用したギャラリーを開設しています。ギャラリーに展示していただいた村正俊さんの活動を紹介します。



縦長の短冊を横にして絵を描くと、思った以上に絵の面白さに気付く、絵の構成や陰影の描き方を研究、独学で学んだ村さん。墨を背景に独特の筆遣いや色遣いの繊細さが特徴です。小さい頃から、絵を描くこと、習字で文字を書くことが好きで、自分自身が思う通りに描きたい「自身の画風」が生まれ、寝食を忘れて没頭。山林の木を素材に円空彫刻（円空の仏像）や、前衛アートも描き、「満足のいく作品が描けた時の達成感が元気の源。絵を通して人を喜ばせたい」と、個展を開いたり、寄贈したり、まさに、エイジレスライフ（年齢にとらわれず、自らの責任と能力において、自由に生き生きとした生活を送る）を実践する仲のいい夫婦です。



自宅アトリエにて

●作品展示を希望される方のお問い合わせは
TEL0766-52-2156 担当：福田

みなさまからの

ご意見箱

外来、入院の患者の方、お見舞いなどでご来院になった方から様々なご意見、ご要望をいただいております。一部ではありますがご紹介し、皆様のご意見を参考に、より良いサービスの提供改善に努めてまいります。

ご意見 外来患者の方より

会社を休んで来たのに、皮膚科が休診で受診できず。外来予定表を渡され、休診日を示されたが、案内板には全く休診日の案内がなく、不親切。休診が分かるよう、案内表示してほしい。

このたびはせっかく足を運ばれたのに受診していただくことができず、申し訳ありませんでした。正面玄関の風除室に「各科の休診日」と「本日の休診科」を掲示しております。ご確認いただければ幸いです。

ご意見 外来患者の方より

床の汚れがひどく目立つ為、気分が悪い。念入りにワックスを塗ってキレイにしてほしい。

ご意見ありがとうございます。頂いたご意見のようにワックスを念入りにかけて汚れを防ぐことを行いたいところですが、病院ですので滑りやすくなり足腰の弱い患者の皆様の転倒にもつながります。転倒防止の為床材もすべりにくい材料を使用しワックスも薄い仕上げになっております。汚れは定期的な剥離清掃を行っておりますが限界があり、常に気持ちのよい状態に保てるよう、なにぞ皆様のご協力をお願いいたします。

ご意見 外来患者の方より

点字ブロックのドアがしまっていて、点字の意味がないです。

ご指摘ありがとうございます。冬は正面玄関から冷たい風が入ってくるため、春は強風のため、夏は冷房効率を上げるため、多くの患者さんの要望により片側ずつの自動扉とさせて頂いております。点字を利用されている方にはご迷惑おかけしますが、ご理解を頂きたくお願いいたします。不都合な点がありましたら、お近くのスタッフに声をおかけください。

ご意見 外来患者の方より

受付の人が冷たい。良い人は良い人だが、そうでない人の方が多い気が。毎月来ている者としては受付するのが苦痛です。そっけない、雑、笑顔がないなど、直していただきたい。

この度は受付の対応に関して不快な思いをなされましたこと、心よりお詫び申し上げます。また、貴重なご意見を賜り、有難うございました。課内で共有し、日頃の態度を振り返り、反省する機会とさせていただきます。ご意見を真摯に受け止め、笑顔での対応、お一人お一人の心に寄り添った細やかな気配りができるように励んでまいります。

■ご意見箱設置場所

●外科・整形外科外来
待合の右後方、患者図書室入口前



●歯科
●わかば病棟
●さくら病棟
●あやめ病棟

セミナー
レポート

第2回 健康セミナー

平成25年7月13日(土)

アイザック小杉文化ホール ラポール ひびきホール

- 聞いてよかった「タバコのウソ・本当」／吉田 良昌
- 「いつまでも若々しくある方法」／刀塚 俊起

当日はあいにくの天候にもかかわらず、多くの方にご来場いただき、皆さまの医療・健康への関心の高さがうかがえました。どうもありがとうございました。

来場者の方の感想 (来場者アンケートより抜粋)

「ひとりでは来られなかった
ので、友達と来ました。日常
的でわかりやすく、いつま
でも若々しくと思います。」

(射水市50代女性)

「検査のこと、がんや他の病
気をテーマにしたセミナーも
開催してほしい。今日、来て
よかった。」

(射水市50代女性)

「いつまでも若々しく長生き
したいので、タバコが老化や
病気の原因になることを学び
ました。」

(射水市60代男性)



真生会富山病院
呼吸器・循環器内科部長
吉田 良昌



真生会富山病院
副院長 内科部長
刀塚 俊起

リレー 私のおすすめ SPOT



医療福祉相談室
ソーシャルワーカー
社会福祉士
はまな ひろこ
濱名 寛子

寿司・魚介料理・海鮮料理
あゆみ

歩寿司 分家多聞

射水市太閤山1-7-7
Tel 0766-56-7296

●営業時間／11:30～14:00
18:00～24:00

●定休日／水曜日
●駐車場あります

上司に連れて行ってもらった歩寿司がおすすめです。
射水市太閤山千成商店街のど真中にある、家庭的な
お店です。

新鮮な富山の海の幸を使った寿司や、日本の寿司
以外(マスターはニュージーランドで修行されたそう
です。)も楽しめます。

また、カキフライなどの一品料理も充実しています。
お値段がリーズナブルなのも魅力です。

是非また行ってみたいですね。



奥様方から、ご同伴、ご家族連れ
でお気軽にご来店いただけます。
昼は、にぎり寿司セットがすす
めです。ランチ(土曜日はない)
や、海鮮料理、サーモンアボカド
カリフォルニアロールセットなど、
寿司以外にも深夜までリーズナブル
なお値段で味わってください。
お待ちしております。



ちょっと一言

住み慣れた家で安心して暮らせるように

訪問看護ステーションころ 看護師 山本 智子

訪問看護で患者さんの自宅を訪れると、長年住
み慣れた「家」のパワーを感じることがあります。
病院に入院していた患者さんが自宅に帰られる
と、安心されたのか、気持ちが落ち着かれたり、
食欲が増えて元気になります。
患者さんとご家族が安心して自宅で生活でき
るよう支援していきたいと思っています。



診療案内

診療科

内科、外科、小児科、整形外科、耳鼻咽喉科
皮膚科、眼科、麻酔科、心療内科、精神科
神経内科、歯科、放射線科、泌尿器科、消化器内科
呼吸器内科、リハビリテーション科、腎臓内科
血液内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科

診療日・外来受付時間

(7:30～ 午前のみ整理券配付)
平日 8:00～11:30 (診察は 9:00から)
16:00～19:00 (診察は17:00から)
(皮膚科・小児科は16:30から診察)

※科によって休診日がありますので、事前にお確かめください。

土曜日 8:00～12:00 (診察は 9:00から)

休診日 日曜日、祝日、土曜日午後

※休診時間帯は当番医師が待機しております。
正面玄関の解錠時間は7:30です。

全科往診・在宅診療・人工透析・人間ドック

24時間救急診療

真生会富山病院では、診療時間外の急な病
気に対し、年中無休で24時間当直医が対
応しております。

平日 19:00から9:00まで

土曜日 12:30から

日・祝日 救急診療24時間対応

●救急診療受付電話 ☎0766-52-2156

※来院する前になるべくお電話を。
※保険証は忘れずお持ちください。

保険証は、毎月提示をお願いしています。
必ずご持参ください。

院外処方せん

当院では原則として「院外処方」としてあります。
当院が発行した「処方せん」に基づき、調剤薬局
でお薬をお受けとってください。

セカンドオピニオン外来

完全予約制

病気に関する疑問や、病院での診断、治療方
針について、他の専門医の意見を聞いてみた
い方は、気軽にご相談ください。

●お申し込み・お問い合わせは

TEL0766-52-2156 担当：地域医療連携室 阿部

専門外来

完全予約制

特定の臓器や病気、症状について専門的な診
断・治療をする外来です。予約制できめ細かな
医療サービスの提供を心がけています。

■血液・免疫 (火曜日 14:00～16:00)

■糖尿病 (水曜日 14:00～16:00)

■透析 (木曜日 14:00～16:00)

■お通じ外来 (金曜日 17:00～19:00)

●お申し込み・お問い合わせは

総合受付 TEL0766-52-2156

スタッフ募集

看護師 若干名 薬剤師 若干名

視能訓練士 若干名

●院内保育施設あります。

応募資格／免許有資格者
(取得見込み者を含む)

※勤務時間等、詳細はお問い合わせください。

●スタッフ募集に関するお問い合わせは
TEL0766-52-2156 人事担当/吉田



グリーンハット

営業時間

月～金曜日 8:30～19:30
(ラストオーダー19:00)

土曜日 8:30～14:00
(ラストオーダー13:30)

定休日 日・祝日

入院時に必要なもの、入院生活で退
屈しないバラエティー豊かな商品をご
用意しております。また、食の安全、
安心にこだわった、保存料、着色料無
添加のあんしん弁当。お総菜、パン、お
にぎりから、ニンジンジュース、農薬を
使わずに育てた有機栽培野菜など
取揃えております。

グリーンハット・売店

診療の待ち時間に、診療後のカフェタイムに
入院中の患者さんにも：気軽にご利用いただけます。

無農薬の有機栽培野菜を使用
し、カロリーや減塩にも配慮。安
全、安心で体にやさしい、健康を
考えたこだわりの食事が味わえ
ます。親子丼、かつ丼、焼そば、かに
玉井など、お持ち帰りもできま
すので、ぜひお立ち寄りください。



売店

営業時間

月～金曜日 8:30～19:30
土曜日 8:30～14:00

定休日 日・祝日



富山シティエフエムの水上啓子さんがパーソナリティを務める、お昼の番組「スマイル!」に、福留隆夫視能訓練士が生出演

富山シティエフエムの水上啓子さんがパーソナ
リティを務める生放送、みんなの笑顔があふれる番組
「スマイル!」に、福留隆夫視能訓練士が出演。視能訓練
士の仕事、目の医療の最前線まで幅広い情報を生ト
ークで届けました。特に、目の不自由な方に、当スタッ
フが「スマイル!」に出演した収録の音源(富山シティ
エフエムさんから提供いただいています)を、真生会
富山病院のホームページで、いつでも聴くことができ
ます。医療情報収集の手段としてご利用ください。



三ヶコミュニティセンターで健康講座開催



三ヶコミュニティセンター
で、地域の皆さんが病気や医療
について、知識を深め、病気の
予防や、健康増進に役立ててい
ただけるよう健康講座を開き
ました。

豊田茂郎 神経内科医師が講
師を務め、わかりやすい講演
で、来場された方々は、内容を
十分理解された様子でした。